

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による自宅療養者への訪問看護支援の実態と課題に関する全国調査」へのご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、お忙しい中、標題調査のご案内（本書）に目を向けていただき、誠にありがとうございます。私どもは、令和4年度【日本看護協会】感染拡大に備える看護提供体制の確保に関する調査研究事業の助成を受け、「**新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による自宅療養者への訪問看護支援の実態と課題に関する全国調査**」に取り組んでおります。

第7波収束も束の間に COVID-19 は新しい波に突入しました。訪問看護に携わる皆様がさまざまな制約があるなか、真摯に利用者へのケアに向かわれていることについては、これまで、その一部がメディア等で報告がされてきました。しかしながら、全国の訪問看護事業所が COVID-19 流行下で直面した現状および課題、その課題に皆様方がどのように取り組んできたのかについて、体系的にまとめられたものは必ずしも多くありません。さらに、COVID-19 は、治療やケアを担う医療従事者に多大なストレスを与え続けていることが指摘されており、その深刻さは疑う余地がありません。

本研究は、①COVID-19 流行下における訪問看護師のケア提供およびケア従事者の不安やストレスの実態を世の中に広く発信すること、および②次なる感染拡大時ないしは新たな新興感染症発生時に向け、効果的かつ効率的な看護サービス提供につなげる提言を行うこと、を目指しております。

ご多忙のところ、さらに昨今、COVID-19 に関する多数の調査が行われるなか、誠に恐縮ではございますが、**皆様の生の声が必要**です。アンケートへのご協力を何卒お願い申し上げます。

一日も早い、COVID-19 の再収束を皆様とともに願っております。

敬具

【研究課題】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による自宅療養者への訪問看護支援の実態と課題に関する全国調査（審査番号 2022246NI）

【研究機関名及び研究責任者氏名】

研究機関:東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻
高齢者在宅長期ケア看護学分野 研究責任者:角川由香

【研究期間】

承認日 ～ 2025年3月31日

【研究目的】

- COVID-19 流行下における、自宅療養者への対応の現状と課題について明らかにすること
- COVID-19 流行下における、自治体等との連携について、その現状と課題を明らかにすること

【研究の概要】

◆対象者

- 訪問看護事業所の管理者ないしは主任の立場にいらっしゃる皆様

◆方法

- インターネットを用いた Web アンケート：同封の水色用紙をご参照ください。
- アンケート所要時間は 20 分程度です。一旦中断しても、途中からご回答を再開いただけます。

【研究協力の任意性】

- この調査にご協力いただくかどうかは、みなさまの意思で決めていただけます。たとえ、調査にご協力いただかない場合でも、みなさまの不利益になることはございません。
- アンケート調査は無記名で行われるため、あなた個人を特定することはできません。そのため、回答後に同意を取り消すこと及びあなた個人の結果をお伝えすることもできません。
- アンケート調査は無記名で行われるため、あなたがこの調査に参加されたかどうか、職場に伝わることはありません。

【個人情報の保護】

- 収集したデータはすべて東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻の研究者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。

【研究により得られた結果等の取扱い】

- 研究の成果は、報告書および学会発表や学術誌上などで公表させていただきます。その際も、調査にご協力いただいた個人が特定されることは一切ございません。

【研究参加者にもたらされる利益及び不利益】

- この研究にご参加いただく皆様に直ちに有益な情報をもたらす可能性は高いとは言えません。しかし本研究の成果は、今後起こりうる COVID-19 の感染再拡大ないしは新興感染症拡大時の訪問看護提供に関する実践において利益をもたらす可能性があると考えます。
- アンケートにお答えいただくために、みなさまの貴重な時間をいただくことになります。

【研究終了後の情報等の取扱い方針】

- 収集したデータは、この研究のためにのみ使用します。研究者の管理下にある場所で厳重に保管し、この研究が終了したあと5年間保管します。その後、紙資料は裁断処理を、電子データは完全消去をします。

【あなたの費用負担】

- 今回の研究に関するみなさまの費用の負担は一切ありません。

【研究から生じる知的財産権の帰属】

- 本研究の結果として特許権等が発生する可能性はなく、研究によって得られる経済的利益はないものと考えられます。

【その他】

- この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。
- この調査の費用は、『令和4年度【日本看護協会】感染拡大に備える看護提供体制の確保に関する調査研究事業』から支出されます。
- この研究に関して開示すべき利益相反関係はございません。

この調査に関して、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく下記までお問合せ下さい。

【調査に関するお問い合わせ先】

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院 医学系研究科健康科学・看護学専攻 高齢者在宅長期ケア看護学分野

連絡担当者：角川由香（すみかわ・ゆか）

Tel : 03-5841-0241 Fax : 03-5841-3502

E-mail : sumi-ky@g.ecc.u-tokyo.ac.jp